【総括表】

用途	市営住宅

1　対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	丸山住宅	丸山町	大規模修繕	
2	中河原住宅	東梅坪町	大規模修繕	
3	流田住宅	広久手町	大規模修繕	
4	仲道住宅	小坂町	大規模修繕	
5	一ノ木住宅	明和町	大規模修繕	
6	牛車住宅	朝日ケ丘	大規模修繕	
7	朝日ケ丘住宅	朝日ケ丘	大規模修繕	
8	水源町住宅	前山町ほか	大規模修繕	
9	市木町住宅	市木町	大規模修繕	
10	東山住宅	東山町	大規模修繕	
11	松平志賀住宅	松平志賀町	集約化	
12	初吹住宅	京ケ峰	現状維持	
13	岩倉住宅	岩倉町	集約化	
14	美和住宅	美和町	大規模修繕	
15	浜居場住宅	志賀町	現状維持	
16	手呂住宅	手呂町	大規模修繕	
17	京ケ峰住宅	京ケ峰	大規模修繕	
18	神上住宅	志賀町	大規模修繕	
19	志賀第１住宅	志賀町	大規模修繕	
20	志賀第２住宅	志賀町	大規模修繕	
21	中根住宅	中根町	大規模修繕	
22	新婚者住宅「すまいる聖心」	聖心町	大規模修繕	
23	大沼住宅	大沼町	大規模修繕	
24	桑田和住宅	桑田和町	大規模修繕	
25	千野住宅	桑田和町	大規模修繕	
26	おちべ住宅	足助町	大規模修繕	
27	井ノ口住宅	井ノ口町	大規模修繕	
28	近岡住宅	近岡町	大規模修繕	
29	高嶺下住宅	野林町	大規模修繕	
30	飯野住宅	藤岡飯野町	大規模修繕	
31	笹戸住宅	笹戸町	大規模修繕	
32	杉本住宅	杉本町	大規模修繕	
33	柏ケ洞住宅	柏ケ洞町	大規模修繕	
34	遊屋住宅「ゆうゆう」	遊屋町	大規模修繕	

35	乳母ケ入住宅	黒田町	大規模修繕	
36	乳母ケ入ハイツ	黒田町	大規模修繕	
37	ソト田住宅	武節町	大規模修繕	
38	ソト田住宅第２	武節町	現状維持	
39	梶畑住宅	桑原町	大規模修繕	
40	コーポ梶畑	桑原町	大規模修繕	
41	今朝平住宅	足助町	大規模修繕	
42	鐘鋳場住宅	桑原町	現状維持	
43	梶畑ハイツ	桑原町	大規模修繕	
44	エビネの里	杉本町	現状維持	
45	樹木住宅	樹木町	現状維持	

2　計画期間

2021 年度から 2026 年度までの 6 年間とする。

3　目標使用年数

原則、目標使用年数は 57 年以上とする。

ただし、岩倉住宅については、松平志賀住宅との再編成整備事業に合わせて集約化（使用年数 53～56 年）を行うものとする。

4　対策の優先順位の考え方

当該施設は、住宅確保要配慮者に対しての低廉な賃貸住宅の供給、山村地域等の地域活性化やコミュニティ維持のための一時的な住宅供給を目的としている。入居者の適正な居住環境を図るため、建築年代が古く、また、近年の住宅水準から著しく乖離している住宅の施設更新を検討する。

また、築年数が目標使用年数に満たしていない住宅については、施設の劣化状況や点検・診断結果等を踏まえ、財政負担の平準化等も考慮しながら、計画的に修繕を行い、機能維持を行うものとする。

【個別表】

1	施設名	丸山住宅

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	丸山町	延床面積	2,648.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
住棟（A 棟）	RC 造	1983	1,686.00	3 階	
集会室	RC 造	1983	119.00	1 階	
住棟（B 棟）	RC 造	1983	843.00	3 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
H２１屋上・外壁改修工事実施済。 吹付は普通程度、鉄部塗装の一部剥離有り。 内部排水管塗装不良有、過去漏水は無し。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適切な修繕を実施し安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
□：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

2	施設名	中河原住宅

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	東梅坪町	延床面積	3,542.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
住棟	RC 造	2005	3,415.00	4 階	
集会室	RC 造	2005	105.00	1 階	
自転車置場	S 造	2005	14.00	1 階	
ポンプ室	RC 造	2005	8.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
北面外壁・手摺にコケが発生。 吹付・鉄部塗装にチョーキング有り。 内部排水管は過去漏水無し。

3　対策内容と実施時期

（1）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（2）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保 各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適切な修繕を実施し安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
□：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減

（3）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

3	施設名	流田住宅

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	広久手町	延床面積	6,314.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
住棟（A１棟）	RC 造	1979	1,847.00	5 階	
住棟（A２棟）	RC 造	1980	3,960.00	5 階	
集会室	RC 造	1980	151.00	1 階	
物置	S 造	1980	137.00	1 階	
自転車置場	S 造	1980	65.00	1 階	
エレベーター棟(A1)	S 造	2014	70.00	5 階	
エレベーター棟(A2)	S 造	2014	71.00	5 階	
物置	S 造	2014	13.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
Ｈ２８年度改修工事実施済み。 外観は吹付・鉄部塗装共に良好。 内部排水管は過去漏水無し。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。 ☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保 各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適切な修繕を実施し安全性を確保する。

□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
□：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

4	施設名	仲道住宅

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	小坂町	延床面積	1,463.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
住棟	RC 造	2007	1,425.00	4 階	
自転車置場	S 造	2007	38.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
妻壁にクラック有。 吹付、鉄部塗装共にチョーキング有。 内部排水管は過去漏水無し。

3　対策内容と実施時期

（1）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（2）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適切な修繕を実施し安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
□：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
（3）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

5	施設名	一ノ木住宅

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	明和町	延床面積	4,256.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
住棟（A1 棟）	RC 造	1989	1,379.00	3 階	
住棟（A2 棟）	RC 造	1989	920.00	3 階	
住棟（A3 棟）	RC 造	1989	920.00	3 階	
住棟（B1 棟）	RC 造	1989	920.00	3 階	
集会所	RC 造	1989	117.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
Ｈ２１屋上・外壁改修済み。 吹付は普通程度。 内部排水管は過去漏水無し。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適切な修繕を実施し安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善

	□：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

6	施設名	牛車住宅

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	朝日ケ丘	延床面積	5,367.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
住棟（A1 棟）	RC 造	1996	1,913.00	3 階	
住棟（A2 棟）	RC 造	1996	1,913.00	3 階	
住棟（B 棟）	RC 造	1996	1,423.00	3 階	
集会室	RC 造	1996	118.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
外壁・鉄部塗装にチョーキング有り。 内部排水管は過去漏水無し。

3　対策内容と実施時期

（1）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（2）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適切な修繕を実施し安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
□：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減

（3）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

7	施設名	朝日ケ丘住宅

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	朝日ケ丘	延床面積	3,724.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
住棟（A1 棟）	RC 造	1988	1,378	5 階	
住棟（A2 棟）	RC 造	1988	1,114	4 階	
住棟（B1 棟）	RC 造	1988	1,114	4 階	
集会場	RC 造	1988	118	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
Ｈ２０屋上・外壁改修工事済み。 吹付・鉄部塗装共に普通。 内部排水管は過去漏水無し。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保 各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適切な修繕を実施し安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
□：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減

（3）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

8	施設名	水源町住宅

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	前山町ほか	延床面積	7,556.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
住棟（A1 棟）	RC 造	1993	1,815.00	4 階	
住棟（B1 棟）	RC 造	1993	327.00	2 階	
住棟（B2 棟）	RC 造	1993	327.00	2 階	
住棟（A2 棟）	RC 造	1994	1,721.00	3 階	
住棟（A3 棟）	RC 造	1994	1,721.00	3 階	
住棟（B3 棟）	RC 造	1994	1,291.00	3 階	
集会室	RC 造	1994	176.00	1 階	
物置	LWS 造	1994	111.00	1 階	
物置	LWS 造	1993	67.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
Ｈ２５外壁改修工事済み。 吹付・鉄部塗装共に普通。 内部排水管は過去漏水無し。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保

各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適切な修繕を実施し安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
□：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

9	施設名	市木町住宅

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	市木町	延床面積	8,729.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
住棟（A 棟）	RC 造	2007	3,438.00	5 階	
集会室	RC 造	2007	154.00	1 階	
自転車置場	S 造	2007	62.00	1 階	
ポンプ室	RC 造	2007	8.00	1 階	
住棟（B 棟）	RC 造	2009	2,683.00	5 階	
住棟（C 棟）	RC 造	2009	2,384.00	5 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
妻壁クラック有り。 吹付・鉄部塗装にチョーキング有り。 内部排水管は過去漏水無し。

3　対策内容と実施時期

（1）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（2）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適切な修繕を実施し安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善

ロ：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

10	施設名	東山住宅

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	東山町	延床面積	34,487.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
住棟（A 棟）	RC 造	1997	4,477.00	6 階	
住棟（B 棟）	RC 造	1997	4,244.00	8 階	
住棟（C 棟）	RC 造	1997	4,242.00	8 階	
集会室	RC 造	1997	482.00	1 階	
住棟（D 棟）	RC 造	2000	4,577.00	8 階	
住棟（E 棟）	RC 造	2000	3,481.00	7 階	
住棟（F 棟）	RC 造	2000	4,410.00	8 階	
住棟（G 棟）	RC 造	2003	3,611.00	6 階	
住棟（H 棟）	SRC 造	2003	4,963.00	１２階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
A～F 棟） Ｈ２７外壁改修工事済み。 吹付・鉄部塗装共に良好。 内部排水管は過去漏水無し。 G・H 棟） 各所壁クラック有り。 吹付・鉄部塗装共にチョーキング有り。 内部排水管は過去漏水無し。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。

（2）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：1）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適切な修繕を実施し安全性を確保する。
□：2）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：3）民間活力の導入による事業推進や運営改善
□：4）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
（3）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

14	施設名	美和住宅

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	美和町	延床面積	16,744.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
住棟（A 棟）	RC 造	2011	3,237.00	6 階	
住棟（B 棟）	RC 造	2011	4,685.00	6 階	
集会室	S 造	2011	180.00	1 階	
住棟（C 棟）	RC 造	2013	4,685.00	6 階	
住棟（D 棟）	RC 造	2015	3,957.00	6 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
築年数が若く、外壁クラックも少ない。 吹付・鉄部塗装共に良好。 内部排水管は過去漏水無し。

3　対策内容と実施時期

（1）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（2）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適切な修繕を実施し安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善

	□：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

16	施設名	手呂住宅

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	手呂町	延床面積	6,727.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
住棟（タイプ A）	RC 造	1972	299	2 階	
住棟（タイプ B）	RC 造	1972	158	2 階	
集会室	CB 造	1972	64	1 階	
住棟（タイプ B）	RC 造	1972	237	2 階	
住棟（タイプ A）	RC 造	1972	299	2 階	
住棟（タイプ A）	RC 造	1972	299	2 階	
住棟（タイプ A）	RC 造	1972	299	2 階	
住棟（タイプ A）	RC 造	1972	256	2 階	
住棟（タイプ A）	RC 造	1972	256	2 階	
住棟（タイプ A）	RC 造	1972	214	2 階	
住棟（タイプ A）	RC 造	1972	214	2 階	
住棟（タイプ A）	RC 造	1972	214	2 階	
住棟（タイプ A）	RC 造	1972	214	2 階	
住棟（タイプ A）	RC 造	1972	171	2 階	
住棟（タイプ A）	RC 造	1972	171	2 階	
住棟（タイプ A）	RC 造	1972	214	2 階	
住棟（タイプ A）	RC 造	1972	171	2 階	
住棟（タイプ B）	RC 造	1972	158	2 階	
住棟（タイプ B）	RC 造	1972	158	2 階	
住棟（タイプ B）	RC 造	1972	158	2 階	

住棟（タイプ B）	RC 造	1972	158	2 階	
住棟（タイプ B）	RC 造	1972	158	2 階	
住棟（タイプ B）	RC 造	1972	198	2 階	
住棟（タイプ B）	RC 造	1972	198	2 階	
住棟（タイプ B）	RC 造	1972	198	2 階	
住棟（タイプ B）	RC 造	1972	198	2 階	
住棟（タイプ B）	RC 造	1972	198	2 階	
住棟（タイプ A）	RC 造	1972	171	2 階	
住棟（タイプ A）	RC 造	1972	171	2 階	
住棟（タイプ A）	RC 造	1972	171	2 階	
住棟（タイプ A）	RC 造	1972	171	2 階	
住棟（タイプ A）	RC 造	1972	171	2 階	
住棟（タイプ A）	RC 造	1972	171	2 階	
住棟（タイプ A）	RC 造	1972	171	2 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
H２６屋根・外壁改修工事済み。 吹付・鉄部塗装共に良好。 内部排水管は過去漏水無し。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保

各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適切な修繕を実施し安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
□：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

17	施設名	京ケ峰住宅

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	京ケ峰	延床面積	7,501.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
住棟	RC 造	1972	2,536.00	5 階	
住棟	RC 造	1972	2,536.00	5 階	
集会室	CB 造	1973	97.00	1 階	
住棟	RC 造	1975	2,332.00	5 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
Ｈ２４屋根・外壁改修工事済み。 吹付は良好、ベランダ手摺鉄部塗装に劣化有り。 内部排水管塗装劣化有り、配管腐食無し。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適切な修繕を実施し安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
□：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減

（3）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

18	施設名	神上住宅

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	志賀町	延床面積	2,735.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
住棟（タイプ A）	RC 造	1974	231.00	2 階	
集会室	CB 造	1974	67.00	1 階	
物置	S 造	1974	162.00	1 階	
住棟（タイプ A）	RC 造	1975	185.00	2 階	
物置	S 造	1,975	13.00	1 階	
住棟（タイプ A）	RC 造	1974	369.00	2 階	
住棟（タイプ A）	RC 造	1974	369.00	2 階	
住棟（タイプ A）	RC 造	1974	369.00	2 階	
住棟（タイプ A）	RC 造	1974	323.00	2 階	
住棟（タイプ A）	RC 造	1974	185.00	2 階	
住棟（タイプ A）	RC 造	1974	185.00	2 階	
住棟（タイプ A）	RC 造	1974	277.00	2 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
Ｈ２０屋根、基礎・塗装改修工事済み。 吹付汚れ有り、窓手摺鉄部塗装に劣化有り。 内部排水管は過去漏水無し。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。

（2）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：1）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適切な修繕を実施し安全性を確保する。
□：2）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：3）民間活力の導入による事業推進や運営改善
□：4）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
（3）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

19	施設名	志賀第１住宅

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	志賀町	延床面積	2,719.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
住棟	RC 造	1974	2,679.00	5 階	
集会場	S 造	1978	40.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
Ｈ２５外壁改修工事済み。 吹付・鉄部塗装共に良好。 内部排水管は過去漏水無し。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適切な修繕を実施し安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
□：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

20	施設名	志賀第２住宅

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	志賀町	延床面積	1,109.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
住棟（タイプ B）	RC 造	1974	299.00	2 階	
物置	S 造	1974	65.00	1 階	
住棟（タイプ A）	RC 造	1975	277.00	2 階	
物置	S 造	1975	19.00	1 階	
住棟（タイプ B）	RC 造	1974	299.00	2 階	
住棟（タイプ B）	RC 造	1974	150.00	2 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
Ｈ２１屋根・外壁改修工事済み。 吹付・鉄部塗装共に普通、庇に汚れ有り。 内部排水管は過去漏水無し。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適切な修繕を実施し安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善

ロ：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

21	施設名	中根住宅

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	中根町	延床面積	3,748.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
住棟（A1 棟）	RC 造	1990	1,361.00	3 階	
住棟（A２棟）	RC 造	1990	1,361.00	3 階	
住棟（B１棟）	RC 造	1990	908.00	3 階	
集会所	RC 造	1990	118.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
Ｈ２６屋根・外壁改修工事済み。 吹付・鉄部塗装共に良好。 内部排水管塗装良好、配管腐食無し。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保 各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適切な修繕を実施し安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
□：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減

（3）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

22	施設名	新婚者住宅「すまいる聖心」

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	聖心町	延床面積	2,111.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
住棟	RC 造	1993	2,111.00	8 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
Ｈ２４外壁改修工事済み。 吹付・鉄部塗装共に良好。 内部排水管は過去漏水無し。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適切な修繕を実施し安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
□：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

23	施設名	大沼住宅

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	大沼町	延床面積	758.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
住棟	RC 造	2004	758.00	2 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
山間部のため全体的に汚れ有り。 吹付汚れ有り、鉄部塗装チョーキング有り。 内部排水管は過去漏水無し。

3　対策内容と実施時期

（1）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（2）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適切な修繕を実施し安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
□：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
（3）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

24	施設名	桑田和住宅

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	桑田和町	延床面積	600.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
住棟（A 棟）	W 造	1986	100.00	2 階	
住棟（B 棟）	W 造	1986	100.00	2 階	
住棟（C 棟）	W 造	1986	100.00	2 階	
住棟（D 棟）	W 造	1986	100.00	2 階	
住棟（E 棟）	W 造	1986	100.00	2 階	
住棟（F 棟）	W 造	1986	100.00	2 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
H２３木部塗装等改修工事済み。 外壁漆喰仕上・木部塗装普通、板金錆有り。 内部排水管は過去漏水無し。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適切な修繕を実施し安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善

ロ：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

25	施設名	千野住宅

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	桑田和町	延床面積	372.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
住棟（A 棟）	W 造	1986	148.00	2 階	
車庫	W 造	1986	76.00	1 階	
住棟（B 棟）	W 造	1986	148.00	2 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
Ｈ２３木部塗装等改修工事済み。 外壁漆喰仕上・木部塗装普通、板金錆有り。 内部排水管は過去漏水無し。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適切な修繕を実施し安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
□：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

26	施設名	おちべ住宅

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	足助町	延床面積	371.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
住棟	S 造	2003	351.00	2 階	
プロパン庫	CB 造	2003	2.00	1 階	
自転車置場	LWS 造	2003	18.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
吹付普通、鉄部塗装一部剥離有り。 内部排水管は過去漏水無し。

3　対策内容と実施時期

（1）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（2）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適切な修繕を実施し安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
□：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
（3）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

27	施設名	井ノ口住宅

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	井ノ口町	延床面積	361.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
住棟	S 造	1998	350.00	2 階	
プロパン庫	CB 造	1998	3.00	1 階	
自転車置場	S 造	1998	8.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
吹付・鉄部塗装共にチョーキング有り。 内部排水管は過去漏水無し。

3　対策内容と実施時期

（1）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（2）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適切な修繕を実施し安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
□：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
（3）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

28	施設名	近岡住宅

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	近岡町	延床面積	308.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
住棟	W 造	1987	50.00	1 階	
住棟	W 造	1987	104.00	1 階	
住棟	W 造	1987	50.00	1 階	
住棟	W 造	1987	104.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
Ｈ３０屋根・外壁改修工事済み。 外壁杉板張り良好。 内部排水管は過去漏水無し。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保 各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適切な修繕を実施し安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
□：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減

（3）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

29	施設名	高嶺下住宅

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	野林町	延床面積	475.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
住棟	W 造	1999	305.00	2 階	
住棟	W 造	1999	156.00	2 階	
自転車置場	W 造	1999	10.00	1 階	
プロパン庫	CB 造	1999	4.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
屋根板金普通。 外壁杉板普通、鉄部塗装チョーキング有り。 内部排水管は過去漏水無し。

3　対策内容と実施時期

（1）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の 3 つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（2）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：1）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保 各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適切な修繕を実施し安全性を確保する。
□：2）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：3）民間活力の導入による事業推進や運営改善
□：4）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減

（3）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

30	施設名	飯野住宅

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	藤岡飯野町	延床面積	358.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
住棟	RC 造	1973	322.00	3 階	
物置	CB 造	1973	20.00	1 階	
ポンプ・ボンベ室	CB 造	1973	16.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
Ｈ２４屋根・外壁改修工事済み。 吹付・鉄部塗装共に良好。 内部排水管は過去漏水無し。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適切な修繕を実施し安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
□：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

31	施設名	笹戸住宅

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	笹戸町	延床面積	742.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
住棟	W 造	1996	82.50	2 階	
住棟	W 造	1997	82.50	2 階	
住棟	W 造	1998	82.50	2 階	
住棟	W 造	1996	82.50	2 階	
住棟	W 造	1997	82.50	2 階	
住棟	W 造	1997	82.50	2 階	
住棟	W 造	1998	82.50	2 階	
住棟	W 造	1998	82.50	2 階	
住棟	W 造	1998	82.50	2 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
ケラバ塗装剥離有り。 外壁サイディングチョーキング・汚れ有り。 内部排水管は過去漏水無し。

3　対策内容と実施時期

（1）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（2）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保

各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適切な修繕を実施し安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
□：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

32	施設名	杉本住宅

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	杉本町	延床面積	1,324.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
住棟	W 造	2000	94.00	2 階	
住棟	W 造	2001	94.00	2 階	
住棟	W 造	2002	94.00	2 階	
住棟	W 造	2003	94.00	2 階	
住棟	W 造	2004	94.00	2 階	
住棟	W 造	2005	94.00	2 階	
住棟	W 造	2007	97.00	2 階	
住棟	W 造	2007	97.00	2 階	
住棟	W 造	2007	97.00	2 階	
住棟	W 造	2000	94.00	2 階	
住棟	W 造	2001	94.00	2 階	
住棟	W 造	2002	94.00	2 階	
住棟	W 造	2002	94.00	2 階	
住棟	W 造	2003	94.00	2 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
外壁サイディングチョーキング・汚れ有り。 内部排水管は過去漏水無し。

3　対策内容と実施時期

（1）基本的な考え方

①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適切な修繕を実施し安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
□：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

33	施設名	柏ケ洞住宅

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	柏ケ洞町	延床面積	623.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
住棟（A 棟）	W 造	1996	109.00	2 階	
住棟（B 棟）	W 造	1996	107.00	2 階	
住棟（C 棟）	W 造	1996	104.00	2 階	
住棟（D 棟）	W 造	1997	102.00	2 階	
住棟（E 棟）	W 造	1997	101.00	2 階	
住棟（F 棟）	W 造	1997	100.00	2 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
外壁サイディング良好。 内部排水管は過去漏水無し。

3　対策内容と実施時期

（1）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の 3 つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（2）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：1）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適切な修繕を実施し安全性を確保する。
□：2）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：3）民間活力の導入による事業推進や運営改善

ロ：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

34	施設名	遊屋住宅「ゆうゆう」

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	遊屋町	延床面積	205.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
住棟（A 棟）	W 造	1993	99.00	2 階	
住棟（B 棟）	W 造	1993	106.00	2 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
外観普通。 外壁吹付普通、汚れ小。 内部排水管は過去漏水無し。

3　対策内容と実施時期

（1）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（2）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適切な修繕を実施し安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
□：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
（3）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

35	施設名	乳母ケ入住宅

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	黒田町	延床面積	703.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
住棟（１号）	W 造	2002	87.00	２階	
住棟（２号）	W 造	2002	86.00	２階	
住棟（３号）	W 造	2002	86.00	２階	
住棟（５号）	W 造	2002	86.00	２階	
住棟（６号）	W 造	2003	91.00	２階	
住棟（７号）	W 造	2003	89.00	２階	
住棟（８号）	W 造	2003	89.00	２階	
住棟（１０号）	W 造	2003	89.00	２階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
ベランダ手摺汚れ大。 外壁サイディングチョーキング・汚れ有り。 内部排水管は過去漏水無し。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。 ☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保 各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適切な修繕を実施し安全性を確保する。

□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
□：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

36	施設名	乳母ケ入ハイツ

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	黒田町	延床面積	156.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
住棟	W 造	2003	156.00	2 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
外壁サイディングチョーキング・汚れ有り。 内部排水管は過去漏水無し。

3　対策内容と実施時期

（1）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（2）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適切な修繕を実施し安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
□：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
（3）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

37	施設名	ソト田住宅

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	武節町	延床面積	86.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年	延床面積（㎡）	階数	備考
住棟	W 造	2002	86.00	2 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
外壁サイディングチョーキング・汚れ有り。 内部排水管は過去漏水無し。

3　対策内容と実施時期

（1）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（2）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適切な修繕を実施し安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
□：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
（3）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

38	施設名	ソト田住宅第２

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	武節町	延床面積	93.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
住棟	W 造	1965	93.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
屋根瓦汚れ有り。 外壁杉板張り普通、庇板金錆有り。 内部排水管は過去漏水無し。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により発覚した不具合に関して修繕を行い、施設の現状維持を行う。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
□：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

39	施設名	梶畑住宅

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	桑原町	延床面積	1,268.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
住棟（１号）	W 造	1998	86.00	２階	
住棟（２号）	W 造	1998	86.00	２階	
住棟（３号）	W 造	1998	86.00	２階	
住棟（５号）	W 造	1999	86.00	２階	
住棟（６号）	W 造	1999	86.00	２階	
住棟（７号）	W 造	1999	86.00	２階	
住棟（８号）	W 造	1999	86.00	２階	
住棟（１０・１１号）	W 造	2000	159.00	２階	
住棟（１２・１３号）	W 造	2000	159.00	２階	
住棟（１４号）	W 造	2001	87.00	２階	
住棟（１５号）	W 造	2001	87.00	２階	
住棟（１６号）	W 造	2001	87.00	２階	
住棟（１７号）	W 造	2001	87.00	２階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
外壁材反りにより割れ有り。 外壁サイディングチョーキング・汚れ有り。 内部排水管は過去漏水無し。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方

①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適切な修繕を実施し安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
□：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

40	施設名	コーポ梶畑

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	桑原町	延床面積	367.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
住棟	RC 造	2000	367.00	2 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
吹付・鉄部塗装共にチョーキング有り。 内部排水管は過去漏水無し。

3　対策内容と実施時期

（1）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（2）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適切な修繕を実施し安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
□：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
（3）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

41	施設名	今朝平住宅

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	足助町	延床面積	77.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
住戸	RC 造	1986	77.00	2 階	シルバー人材センター足助支所の一区画

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
Ｈ２９屋根・外壁改修工事済み。 吹付・鉄部塗装共に良好。 内部排水管は過去漏水無し。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により発覚した不具合に関して修繕を行い、施設の現状維持を行う。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
□：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

42	施設名	鐘鋳場住宅

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	桑原町	延床面積	93.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
住棟	W 造	1969	93.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
屋根瓦汚れ有り。 外壁杉板張り普通。 内部排水管は過去漏水無し。

3　対策内容と実施時期

（1）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（2）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により発覚した不具合に関して修繕を行い、施設の現状維持を行う。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
□：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
（3）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

43	施設名	梶畑ハイツ

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	桑原町	延床面積	640.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
住棟	S 造	2009	640.00	2 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
外壁吹付・鉄部塗装普通、汚れ有り。 内部排水管は過去漏水無し。

3　対策内容と実施時期

（1）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（2）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適切な修繕を実施し安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
□：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
（3）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

44	施設名	エビネの里

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	杉本町	延床面積	566.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
住棟（A 棟）	W 造	2013	315.00	2 階	
住棟（B 棟）	W 造	2013	251.00	2 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
外壁サイディング良好、汚れ小。 内部排水管は過去漏水無し。

3　対策内容と実施時期

（1）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の 3 つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（2）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：1）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適切な修繕を実施し安全性を確保する。
□：2）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：3）民間活力の導入による事業推進や運営改善
□：4）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
（3）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

45	施設名	樹木住宅

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	樹木町	延床面積	2,450.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
住棟（A 棟）	W 造	2018	161.00	1 階	
住棟（B 棟）	W 造	2018	223.00	2 階	
住棟（C 棟）	W 造	2018	223.00	2 階	
住棟（D 棟）	W 造	2018	279.00	2 階	
住棟（E 棟）	W 造	2018	277.00	2 階	
住棟（F 棟）	W 造	2018	221.00	2 階	
住棟（G 棟）	W 造	2018	221.00	2 階	
住棟（H 棟）	W 造	2018	221.00	2 階	
住棟（I 棟）	W 造	2018	221.00	2 階	
住棟（J 棟）	W 造	2018	161.00	1 階	
住棟（K 棟）	W 造	2018	242.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
竣工 2 年以内にて外観は良好。 内部排水管は過去漏水無し。

3　対策内容と実施時期

（1）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の 3 つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（2）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。

☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適切な修繕を実施し安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
□：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。